

令和3年度 「年度末学校関係者評価」(外部評価)

	項目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見(外部評価者からの指摘を基に記載)
教育環境の 充実	①学校安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末で、教材研究や授業研究等も充実し、生徒も意欲的に取り組んでいる。発達段階に応じた教材作成に大きな工夫が感じられた。 ・板書を撮影して欠席者も後から見られるような工夫は支援教育にもつながり良い取り組みだ。 ・地域と PTA との協働にも積極的かつ柔軟に取り組まれている。保護者、地域の声を受け止める姿勢が大切である。
	②教育情報化の推進	
	③地域との協働推進	
	④学校評価を生かした学校づくり	
I 学習指導の 充実	①授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 活用と深い学びや対話的な学びとのバランス、講義的な授業とのミックスなど新たな課題は多いと思われるが、新しい時代の学びを検証して行って欲しい。 ・「まなびのプラン」を活用した日常的な授業展開は教員の授業に対する姿勢が相互理解されていることだと思われる。「まなびのプラン」が形式化、形骸化されないように授業実践を通じて常に改善を心がける必要はある。 ・親も新しい価値観へアップデートできるよう、共に学ぶ機会があると良い。また、個の確立に重要だと思うので、多様な大人との出会いの機会を多く作って欲しい。
	②健康体力づくりの推進	
	③体験活動の充実	
	④今日的課題への取組	
II 支援の充実	①支援環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活は落ち着いているように感じる。生徒と先生が良好な関係を作り、安心して学ぶ共同体を形成して欲しい。生徒の自分で考え、意思決定し行動する場面が大事である。 ・コロナ禍での複雑な状況下、課題も多く対応は難しいと思うが、個々の生徒の状況や保護者の要望を掌握し、校内外の協力体制を持って組織的に対応していく必要がある。 ・教育相談 CO が授業も担っている。教員不足もあり、教育相談 CO としての時間が十分でないと感じる。中学では通級指導教室もないので、中学だけで支援を充実させることは難しいと思う。市としての取り組みも期待したい。
	②安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	
	③問題行動対策・不登校対策の推進	
	④幼・保・小及び小・中の連携推進	
III 学校組織の 充実	①学校・学年・学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究への前向きな取り組み姿勢の今後の継続を期待したい。ICT 機器の活用、「主体的・対話的で深い学び」の視点など、校内で共有化を図らねばならないことについて、今年度の成果を踏まえ、教職員一体となったの取り組みに期待する。 ・教職員同士がサポートし合い良い雰囲気で行っている様子もうかがえ、生徒にも良い影響があったと想像している。一方、部活動の指導では課題もあったと聞いており、働き方改革とも合わせて、部活動については改善や工夫が必要と感じている。
	②研究・研修の充実	
	③信頼に基づいた指導の推進	
	④働き方改革の推進	

